

飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



総会議案全て承認

役員世代交代で活性化に期待

平塚MAC定時総会

新型コロナウイルス感染防止の観点から3年連続で書面による議案採決となりました。採決の結果、60名中39名の意思表示を頂き、全議案が提案通り承認されました。役員体制では笹ヶ瀬正二さんが新たに入られました。また、5月14日の役員会で会計監査を池田忠宏さんをお願いすることになりました。池田さんは顧問も兼任です。今回は新年度に向けた今込会長のメッセージを紹介します。

ウィズコロナの道を探る

季節を細かく分けると、今頃は「小満」と云うのだそうです(24節気)。あらゆる生命が満ち満ちている時期のことだとか。人の世に季節だけは順調

に巡ってきますが、順調に行かなかったのはMACの総会でした。コロナ感染症が未だ落ち着かず第7波も警戒しつつあります。こう

した中で止む無く3年連続の「書面議決」方式と成りました。でも会員皆様のご理解のおかげで「書面議決」も滞りなく纏めることが出来ましてご協力に感謝申し上げます。

また、資料でもお

分かりの様に、役員の名前も大分変わり世代交代をしました。だからこそ、総会後の懇親会等で顔合わせや交流が必要なのですが状況が許しませんでした。今はコロナ禍で部会の休止が目立ちますが、状況と兼ね合いをみながら再開の方向をじっくりと探り、会員の参加による活性化に繋げて行きたいと思えます。どうか、令和4年度も宜しくお願い申し上げます。この飛翔が発行される頃にはどうなっているかわかりませんが、いま、大国に

よる蛮虐な領土侵攻が行われ世界を震撼させております。世界大戦を恐れ世界諸国は慎重に対応しておりますが、軍事による実力行使が罷り通るとなれば、やがて我が国の近隣国の有事も他人事ではなく、日本に及ぼす影響は頗る大きいと云えます。平和慣れた日本

も、決して対岸の火事では済まされないでしょう。コロナ感染症で辟易している上に、全く騒がしい世の中になったものです。一日も早い戦争の終結と世界平和を願ひ、皆様の平穏な生活を心から切望致します。

パークゴルフの会

コロナに打ち克つ ホールインワン

書くのも嫌、話すのも嫌、聞くのも嫌。そんなコロナが未だに続いています。

パークゴルフの会は、屋外での競技と言うことで影響は最小限にとどまっています。しかしながら今年の1月、2月のオミクロンの感染力により休止を決定しました。

それでも年間18回開催できました。これは昨年、一昨年とほぼ同じ開催回数でした。参加人数は延べ148名と1回平均8名強でした。結構頑張れたと思っております。

メンバーの実力アップは

ホールインワン14回、アルバトロス1回の実績(一昨年はホールインワン8回)で評価できると思っております。但し表彰賞品担当の今込さんは、大分頭を痛めたようです。

年間成績は優勝杉山孝司、準優勝今込祐弘、第3位渡邊稔(敬称略)となりました。表彰対象のブリービー賞は外部には出さないことので了解願ひます(笑)。MACの活動も休止状況が多い状態ですが、是非活動している部会に参加され

当面のスケジュール

- 6月9日、23日、7月14日、28日(木) パソコン勉強会
- 6月6日、20日、7月4日、25日(月) パークゴルフの会
- 6月3日、10日、17日、24日
- 7月1日、8日、15日、22日(金) 囲碁を楽しむ会



パークゴルフの会世話人

ることをお勧めいたします。少しでもコミュニケーションを取れたらなと思いつつ、コロナに打ち克つ平塚MACを実践しましょう。